

2008年6月に余りにも下腹部が重くなり、歩くにもお腹を支えてあげないと歩きにくい状態になり、産婦人科の先生に・・・これは、婦人科では解らないのでと、病院を紹介していただきました。

金曜日に行ったんですが、詳しい事は何日も通って来るのは大変だから、検査入院でゆっくり調べましよう、7月の14日に入院し、色々な検査～検査。同じ病室の方々は、がん患者さんばかりで、私も何処かにがんが出来ているの？そんな事を思いながらも、食べる事も段々と苦痛にさえ感じられるようになって来た矢先、先生から、「これで検査も終わりましたので説明をします。都合の良い日時を」と言われ、家族と兄妹に来てもらい説明を受けました。

やはり癌、癌でした。それも厄介な癌です。え！何ですか？実はお腹の腹水を調べたら、そんなに悪性度の高いものではないが、腹膜播種を起こしているので、厳しいです。悪性度の高い進行ガンで、スキルス性の胃ガンです。残念ながら手術はできません。胃を全部摘出する事もできません。今は化学療法(抗がん剤)でガン細胞を小さくする事です。それってもしかして死を待てと言う事。直ぐに死ぬの・・・ガン＝死＝ガン・・・頭の中が死で満杯でした。セカンド？何それ？もういい、だって死ぬんだからと・・・

結局8月3日～抗がん剤治療が始まりました。辛くって、苦しい何も食べる事が出来ないまま、髪の毛は抜け、体毛も抜け涙も枯れました。誰とも話したく無い。家族以外の顔も見たくない。もんもんとした日々がただ過ぎて、自分の体がミイラ化していきました。

そんな時に一冊の本に出会いました。食事で今あるガンが・・・消えた。私は一気に読みました。奇跡はあるかも？そう言えば私は、高蛋白、高脂肪そして、塩分の取り過ぎでした。その本を読みその日から(2009年3月17日)私なりの食事療法を始め・3ヶ月位して効果が現れてきました。そう言えば“私抗がん剤飲んでるよね。”と忘れるくらいに副作用が軽減されていました。

今も続けながら自分にご褒美だと美味しい味の付いた物も頂きながら、そしてアルバイトにも行けるようになりました。家族の大きな支えが私をここまで元気にしてくれました。

それと誰の顔も見たくない、誰とも話したくない時、ある新聞記事に載っていたがん患者サロンの扉を恐々訪ねましたところ、暖かい優しい笑顔に迎えられる元気を、そして私は一人ではなく、同じ仲間が沢山いるという事を、そして今私はがん患者サロンに行く楽しみを頂きました。

一人にならないで外に出る、当たり前なのが日々感謝です。人生は長い～たまに寄り道もよし、ゆとりのある自分で、一日一日を、笑顔で過ごしたい。私の大切な家族に有難う。これからも宜しく私の中のガン子さん。最後に私を元気にしてくれた、人参ジュースに乾杯！